

養成校の取り組み（16）

2016年3月末日現在

大学名：国際武道大学

住所：千葉県勝浦市新官 841

電話番号：0470-73-4111 (代表)

養成開始：2007年度



学生が地域住民の運動サークルを指導している様子

健康運動指導士養成における我が大学の方針、目的や目指す方向性等

様々な身体活動やスポーツの実践を通して、体育・スポーツを幅広く経験し研究することにより、豊かな人間性を兼ね備えた社会に貢献できる人材の育成を目指しています。カリキュラムは、体育・スポーツの専門性を心身で体感しながら修学するための実習や演習等を多用した、実践力を高める教育プログラムの充実を図っています。適切な運動処方、実技指導ができる健康・体力づくりの指導者を目指しています。

健康運動指導士の養成方法やその特徴

2年次開講の「健康体力づくり運動指導理論と実践」、「健康運動指導Ⅰ」、3年次開講の「健康運動指導Ⅱ」などが健康運動指導士養成における主要科目です。これらの授業では、生活習慣病予防や介護予防のための運動指導の方法、および健康関連の体力測定の方法を学びます。そして、実際に授業内で地域住民に対しての体力測定とコンサルテーションを複数回行います。地域住民の体力測定を行うことによって、体力測定の方法を学ぶとともに、コミュニケーション能力の育成、適切な運動処方の作成ができるようになります。また、この経験が健康運動の指導者としての自覚につながります。そして3年生までに学んだ知識や能力を、4年次開講のインターンシップ（健康産業現場実習）に活かします。

我が大学の魅力・PRポイント

本学では、大学の立地上、地域とのかかわりを重要視しています。2002年から中高年者を対象とした半年間の運動教室を、2つの市（勝浦市、いすみ市）との共催で行っています。運動教室の指導には大学の教員が当たります。半年間の運動教室を終えられた方々は、自主サークルを作り、その後、年間を通して運動を行っています。その指導には、学生が当たっています。指導にあたる学生は、自主的に週3回行われる運動指導のための朝練習会に参加し、運動指導の勉強を行っています。2つの市の運動教室を終えられて自主サークルに参加されている方々は、それぞれ120名を超えています。

その他（今後取り組みたいこと等）

カリキュラム変更に伴い、受験希望の学生は徐々に増えていますが、最終的に受験する学生は少ないのが現状です。加えて、実際に受験したとしても、受験対策の不足から本学の合格率はまだまだ低いのが現状です。今後は受験者数の増加と合格率を上げるための対策を考えていきたいと思っています。